



## 基礎と臨床、二本の柱の井上研



2015年5月当講座が主催した第37回血栓止血学会甲府大会にて

### 研究テーマ: 血小板生物学

日本での死因のうち、心疾患(第2位)と脳血管疾患(第3位)の多くが心筋梗塞、脳梗塞といった動脈血栓症であり、血小板が深く関与します。

また、血小板は免疫、発生、がん転移などに様々な生命現象に関与することも分かってきました。全身を巡る血小板の持つ未知の機能を明らかにすべく研究を日々行っています。

・基礎的テーマ 血小板活性化受容体CLEC-2の病態生理学的機能の解析

・臨床的テーマ 抗血小板薬の薬効モニタリング法の検討、血栓止血異常疾患の原因究明

先日も血液学の最高峰Blood誌の表紙を飾った他、J. Biol. Chem. といった一流誌に多くの論文を発表し続けています。

### 研究手法: 血小板だけでなく、広く一般的な研究手法を学べます。

これらを習得すれば、将来どのラボに行ってもやっていけます。

- ・血液の取り扱い(ヒト検体を扱うことが可能)
- ・細胞培養(血小板だけでなく、様々な培養細胞を使用)
- ・生化学的解析(免疫沈降、ウエスタンブロット等)
- ・遺伝子細胞工学(発現ベクター作製、組み換え蛋白作製、細胞への遺伝子導入)
- ・免疫細胞化学(免疫染色、細胞内Ca測定)
- ・組織学的解析(切片作製から免疫染色、特殊染色)
- ・遺伝子組み換えマウスの管理と解析(病態モデルマウス作製も)
- ・血小板機能解析装置の品揃えは日本一!

### 特徴

- ・検査部との密な連携があります。
- ・当講座のスタッフはバックグラウンドが多様で、「超」気軽に話せる雰囲気なので研究で困ったときには誰かがいいアイデアを提案してくれます。
- ・週1回ずつのprogressとjournal clubに参加していただく予定です。